

東員 議会だより



みんなで楽しく

平成23年度決算を認定 2P

| | |
|---------------|-----|
| ・ 主な補正予算 | 6P |
| ・ 一般質問（12名） | 8P |
| ・ 委員会視察研修レポート | 20P |
| ・ 傍聴者の声 | 23P |

113号

平成24年10月19日発行

9月定例会

発行 三重県東員町議会

税金

9月定例議会

平成23年度の一般会計決算は、歳入75億7,282万円、歳出70億4,445万円で、歳入歳出差引額5億2,837万円から翌年度繰越額2,457万円を差し引いた、実質収支額は5億380万円の黒字となりました。

～主に使われた事業～

| | |
|--------------------|---------|
| ・子宮頸がんワクチンなど予防接種 | 1,413万円 |
| ・定住促進事業補助金 | 778万円 |
| ・小中学校少人数教室エアコン設置工事 | 716万円 |
| ・市民プール・総合体育館改修工事 | 2,532万円 |
| ・体育館トレーニング機器購入 | 731万円 |
| ・木造住宅耐震診断及び補強 | 615万円 |

9月定例会は、6日から26日までの会期で開かれました。平成23年度決算認定、平成24年度一般会計補正予算・介護保険特別会計補正予算、条例改正、教育委員の任命のほか、請願、意見書など、認定6件と議案8件、請願4件、発議4件が提出されました。全会一致、一部賛成多数で、原案どおり認定・可決しました。

主な質疑

問 防犯灯は東員町でどれだけありますか。また、LEDなどコスト面の見直しと、いつまでに取り替えるのですか。

答 約2700カ所です。一斉に交換することができれば、電気代も年間800万円ほどが、約400万円ほどになりますので、できるだけ早い時期に取り換えていきたいと考えています。

が、今後の見通しはどうですか。

答 契約は今年度で切れます。国の補助メニューで、公共交通会議を開催し、今年度中に東員町の公共交通を鉄道も含めて、どのような形をとるべきか連携計画とバスのネットワーク計画の調査を3月までにする予定です。

問 コンビニ収納が全税に拡大していますが、状況はどうですか。

答 1年目で1000件の予定が1903件あり、利便性としては非常に高まったのではないかと認識です。

問 コミュニティバスの運行業務委託料4830万円ですが、乗車収入や補助金を併せても1250万円にしかありません。何年度までの契約ですか。また、ずっと続けば北勢線どこまでありませんか。

活かさ



問 中部公園管理棟の今後の活用はどうなっていますか。

答 今のところ観光協会、商工会、「いずみ」さんのパンの販売などを考えています。

問 通所サービスなど利用促進事業は、通所しやすいようにお金で負担しているということですか。

答 障がいをお持ちの方が、通所により、生活介護事業所、自立訓練、就労継続支援などの日中活動に行かれる場合に、送迎のサービスにかかる費用額を町で負担しようとするものです。自宅から施設までは1人あたり片道540円、短期入所は利用者一人につき1860円という単価になっています。

問 元気老人サロンは23年度、参加者が多いというところで当初750万円が100万円追加で850万円ですが、シニアク

ラブは30万円ほどです。元気老人サロンと老人会の活動の違いはなんですか。

答 元気老人サロンは、地域の高齢者の方々が、公民館などへ出て来て、お話をしていただけのように、地域の見守りも含めて、介護予防事業、元気老人サロン事業というもの立ち上げました。老人会は、よく似た事業内容ですが、地域の奉仕活動というものをやっていたいただいています。いろんな提言がありますので、老人会事業、サロン事業を、現在統合できないか検討しています。

問 最終処分場はいつごろまで使用できますか。

答 今の搬入量から計算すると平成40年頃と考えられています。次の候補地は今のところなく、できるだけの延命策を考えていきます。

問 プラネタリウムの運

営は、いつまで続きますか。

答 オーバーホールすると1000万円、機器の更新には4000万円掛かります。機器以外のソフトも1本で200万円ほどします。プラネタリウムの耐用年数は15年で、すでに24年間経過しています。結論としては今の機器が壊れたらやめます。

問 学校施設への太陽光発電について、どう考えていますか。

答 来年度学校施設の改修と長寿命化計画を考えています。当然耐力度調査も行いますので、太陽光発電の導入という事も計画の中で考えています。



平成23年度特別会計・企業会計決算の状況は

| | |
|---------|---|
| 国民健康保険 | 3,460世帯で6,229人が加入しています（前年度比103%、167名増）。収支差引額は1億7,598万円で、単年度収支額は、3,057万円の黒字となりました（単年度収支前年度比は175%）。 |
| 後期高齢者医療 | 全市町で構成する三重県後期高齢者医療広域連合により、運営されているもので加入者は2,267名です（前年度比103%、62名増）。収入額は1億5,834万円で支出額は1億5,588万円で、差し引き246万円の黒字になりました。収納率も昨年より0.2ポイント好転して99.2%となりました。 |
| 介護保険 | この保険制度は年齢を重ねる事により介護が必要となる方を家族だけではなく社会全体で支える制度です。収入額は12億1,005万円で支出額は11億4,445万円です。収支差引は6,560万円の黒字となりました。 |
| 下水道事業 | 収入は前年度に比べ、2.2%減の7億5,726万円、支出も前年度と比較して5.0%減の7億498万円で収支差引き5,228万円の黒字となりました。 |
| 上水道事業 | 給水人口は、昨年度より96人増の2万5,808人でした。1日平均の給水量は8,543m ³ でした。上水道管理事務所設備改修工事、第1・第2水源地設備改修工事、中上・長深間配水管布設工事を実施しました。当年度純利益は1,942万円の黒字となりました。 |

国民健康保険

問 シェネリックの活用率は把握していますか。

個人では言いにくいので、病院にシェネリックを使用するよう行政が指導できませんか。また、被保険者にはどの程度、PRしているのですか。

答 町内シェネリックの活用率は現時点で把握していません。

県の医師会に平成23年度から国保連合会を通じて活用促進の話をさせていただいていますが、全ての医師が了承しているとは聞いていません。

保険証の更新時にパンフレットを同封、被保険者にも周知しています。今後も広報などでさらにPRをしていきます。

介護保険

問 介護保険認定者数は何名ですか。そのうち利用されていない方の状況はどうですか。

答 認定者は689名です。

介護保険未利用者は155名ですが、介護サービスを利用せず、住宅改修や福祉用具購入などで利用する場合の認定者や医療入院等で介護給付費の中断者と考えられています。

反対討論（大崎議員）

普通徴収（年金18万円以下）の方の滞納額が年々増加し不納欠損額も増加しています。介護保険料は払える保険料にすべきですので、反対します。

賛成討論（島田議員）

弱者と言われる方については、別の救済方法があるとは思いますが、介護保険の加入者負担は、能力に応じて課せられていくものです。この義務を果たすことが公平と考え、賛成します。

後期高齢者医療

問 短期保険証2件はどのような状況ですか。低所得の方の減免はありますのか。

答 6カ月証を交付していますが、納付も連絡もない状況です。2件とも所得の低い方です。

減免は災害などがなければありませんが、最大で軽減は9割軽減があります。均等割年間3万6800円が36800円になります。

反対討論（上原議員）

年齢を区分し別枠の医療制度にしたもので1世帯の夫婦2人に年金など収入がなくても1人ずつが均等割りで3万6800円払わなければならない制度です。反対します。

賛成討論（島田議員）

弱者と言われる方については、別の救済方法があるとは思いますが、後期高齢者医療の加入者負担は、能力に応じて課せられているものです。この義務を果たすことが公平と考え、賛成します。

水道事業

問 施設の耐震化工事について、ビジョン、計画があれば教えて下さい。また、水道料金の値上げは、ありますか。

答 現在施設の状況把握を、名古屋下水道総合サービス株式会社「ナウス」にお願いしています。

現状の管路状況をデジタル化して整理し、耐用年数が過ぎた機器も沢山ありますので、耐震化を含めた施設設備を考えています。水道事業費は、すべて水道料金で成り立っています。

将来上がる予想はありますが、なるべく上げずに行きたいと思っています。

下水道事業

問 流域下水道事業費の建設負担金が倍以上になったのはなぜですか。

答 処理場の下水施設の消毒設備、脱水機の改築等、老朽化した施設の工事を各関係市町で負担しています。

問 北勢沿岸流域下水道維持負担金が1850万円ほど減額になっていますが、なぜですか。

答 前年度の余剰金の返還があった分です。

監査委員の意見

- * 一般会計決算額は、前年度と比較して、歳入で4.3%、歳出4.7%減の決算規模となった。実質収支額は5億380万円の黒字、単年度収支は、233万6,000円の黒字、実質単年度収支も6,604万4,000円の黒字になっている。
- * 特別会計決算額は、前年度比、歳入4.2%、歳出で、3.2%増の決算規模となり、歳入100.3%、歳出94.1%の執行率となった。
- * 本町の財政運営を財務指標で見ると、財政力指数は0.761で前年度より、0.029ポイント下降している。経常収支比率は84.0%で前年度より3.1%上昇した。更に、実質公債比率については5.7%となっている。
- * 今後経済状況が一層厳しくなる中で、それぞれの立場で日常業務を振り返り、自主財源の確保と限られた財源で、住民の信頼と期待に応えられるための創意工夫をし、最小の経費で最大の効果が得られるよう、なお一層の努力をされたい。

（監査の意見書から抜粋）

一般会計 補正予算

東員町PRテレビ番組制作委託料や東員町PRラジオ番組制作委託料、介護基盤緊急整備事業補助金、木造住宅耐震補強事業補助金などの補正予算5565万5000円を全会一致で賛成し、予算総額73億535万6000円となりました。

質疑

問 PRテレビ番組は、本年度で何回ありますか。

答 本放送3回、再放送6回で合計9回です。

問 生放送3回で、1回目は東員町全域、2回目は環境面、3回目は福祉関係のPRと考えています。

問 男女共同参画の講演料は医師による講演会ということで25万円計上されています。講師の方と、講演内容、日程を教えてください。

答 県からの紹介で講師を選びましたが、価格はこれくらい値段と聞いています。心療内科医師の明橋大二郎先生で、子育てについての講演です。

平成25年1月14日を予定しています。

問 介護保険事業の、小規模多機能型居宅介護事業はどのようなものですか。

答 デイサービス、訪問介護、ショートステイ、が統合されたような施設です。場所は穴太の、なでしこの家の西側です。対象者は東員町内に在住の要支援、要介護の方で、定員は25名です。

条例改正

東員町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

防災会議の所掌事務として「町長の諮問に依りて町の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること」を併せて、多くの方の参画を図るため、「自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者」を委員として選任できることとするもの。

質疑

問 今回の改正で、女性の登用を町長はどのように選ばれるのか、地域防災計画の策定する段階で、検討されたことですか。

答 防災組織のリーダーや資格を持って見える方を含め、防災計画の見直しで、この10月の広報でワークショップの人材募集をします。男性12名、女性12名の募集です。

女性の立場や生活習慣、他市町にはない避難所の防災計画、設営マニュアルなど考えていきたいと思えます。

東員町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

災害対策基本法の改正に伴い、市町村災害対策本部の設置根拠となる条文に項のずれが生じたため、所要の改正を行うもの。

補正予算の主なものは

| | |
|------------------|---------|
| ・東員町PRテレビ番組制作委託料 | 105万円 |
| ・東員町PRラジオ番組制作委託料 | 936万円 |
| ・介護基盤緊急整備事業補助金 | 3,540万円 |
| ・町営住宅修繕費 | 200万円 |
| ・木造住宅耐震補強事業補助金 | 450万円 |



はなやまこうすけ
花山孝介氏

住所 東員町大字中上

平成16年から教育委員としてご活躍の、花山孝介氏の再任に同意しました。



おかのしょうじ
岡野譲治氏

住所 東員町大字六把野新田

平成21年から教育委員としてご活躍の、岡野譲治氏の再任に同意しました。

教育委員に再任

各議員の賛否

平成24年9月定例会

議案、発議議案の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

| 審議結果 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | |
|------|------------------------------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|
| | | 近藤隆 | 近藤敏彦 | 島田正彦 | 南部豊 | 種村博行 | 上原君代 | 鷲田昭男 | 川瀬孝代 | 木村宗朝 | 藤田興一 | 南部武司 | 伊藤守一 | 山本陽一郎 | 大崎潤子 |
| 可 | 平成23年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 可 | 平成23年度東員町介護保険特別会計決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

議長は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席

国へ意見書を提出しました

- ◆「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める国への意見書
義務教育費無償の原則にのっとり、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため設けられた義務教育国庫負担制度を存続し、更なる充実をしていただきたい。
- ◆「教職員定数改善計画の着実な実施と教育予算拡充」を求める国への意見書
子供たちの「豊かな学び」の保障にむけ、「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算の拡充をおこなっていただきたい。
- ◆「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の充実」を求める国への意見書
家庭の経済的な理由により、子供たちの学びなどに影響がでることのないよう、保護者負担の軽減と就学・修学に関わる制度を拡充すること。
- ◆「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める国への意見書
子どもたちの安心・安全を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の見直しをはじめ、総合的な学校安全対策をおこなっていただきたい。

上記請願が、員弁郡いなべ市PTA連合会、員弁郡いなべ市校長会、三重県教職員組合員弁支部から提出され、採択し、意見書として提出しました。



藤田興一

イオン開店は

25年12月開店予定です



イオン平成25年12月オープン予定

(仮称)東員スーパーセンターについて3点の質問を致します。

①決定的なオープン時期はいつですか。

②イオン進出における経済効果を示してください。

③最終の開発概要を示してください。

総務部長 ①25年12月オープンを予定しています。

②直接的には税込で6900万円程度を考えています。

建設部長 ③本年5月

に2階建てから4階と屋上が駐車場となる変更の計画申請があり、現在、協議中ですが、開発面積約10万2千520㎡、建築面積約2万5千700㎡、延床面積約7万5千㎡で、4階と屋上が駐車場(平面1千803台、屋上610台)の計画となっています。

再質問(一問一答)

現在、イオン側から地区外に駐車場の増築申請の依頼がありますが、協議の内容を示してください。

政策課長 イオンから店舗面積の増加により駐車台数を確保する必要があるということで、二度の説明があり、ハッキリとした説明は受けていないが、場所はここですよという説明は受けました。

地元の反応は一日も早いオープンを願うことであり、町からは自治会長へ説明に伺いました。

また、町の協力については、農地をなくしてまで増やすこと自体はいかなものかということや、現在イオンへもう少し考えて欲しいというお返しをしてあります。

今の状況で平成25年1月の建物の着工はできませんか。

政策課長 説明の中で、駐車場などについてはこの場所でしょうかということや、それについて協議計画が出ていないことから、協議ができない状態です。

情報公開について

広域行政の北勢線やRDF発電事業の協議内容や資金運営等について詳しく町民に情報公開をしていただきますか。

副町長 北勢線については平成25年以降の方針を10月号の広報へ掲載する予定です。

いずれにいたしましても、今後も北勢線やRDFなどの重要な政策について

きましては、積極的に情報を幅広く提供していきます。

※ほかに、水道事業協定について質問しました



RDFの情報公開



木村宗朝

運動会の開催時期は 春は難しいです



熱中症に気をつけて

9月に学校の運動会を開催する場合、新学期が始まると同時に練習を始めなければなりません。生徒の負担などを考え、春に運動会を開催するところもあります。開催時期を検討してはどうでしょうか。

教育長 ここ数年、夏の猛暑が9月に入っても続く傾向があり、子どもたちの健康管理の面からも、運動会の開催時期を再考する必要があるのではないかとという意見を、

現場からいただいたことでもあります。

しかし、幼稚園・保育園、小学校・中学校の運動会、体育祭は、当日を迎えるまでの取り組みに相当な時間を要することや、新入園や新入学の園児・児童を考えると、春の開催は大変難しいと思われる。

三重国体を東員町でも
国民体育大会が平成33年に三重県で開催されること が決定しています。

会場の選定調整が行われると思いますが、東員町で競技が実施できるよう努力をしてください。

教育委員会事務局長
県は国体に向けた準備作業を進めており、国体競技種目の事前施設調査として、県内のスポーツ施設の現状把握を行っている段階です。

本町も総合体育館や陸上競技場をはじめ、スポーツ施設全般について現状報告をしました。しかし、そのほとんどは国体競技の施設基準に合致していません。国体開催は、本競技種目以外に、公開競技などもあり実施できるように働きかけます。

再質問(一問一答)
東員町の施設だけで一つの競技を開催することが難しいなら桑名市、いなべ市との共同開催を考えたらいかがでしょうか。

教育委員会事務局長
県として共同開催で良いということになれば、その方向で検討します。



ここで国民体育大会を

東員町には宿泊施設がないので、競技を誘致する方法として民泊を考えたらいかがでしょうか。

教育委員会事務局長
以前の国体でも民泊をしたところがあったと聞いています。開催計画が決まれば考えていきます。現在、町として開催できると思われる競技は何がありますか。

教育委員会事務局長
体育館を利用できるのは制約がありますが、卓

球、レスリング、ウエイトリフティングが考えられます。

※ほかに、トレーニング室とAEDについて質問しました。



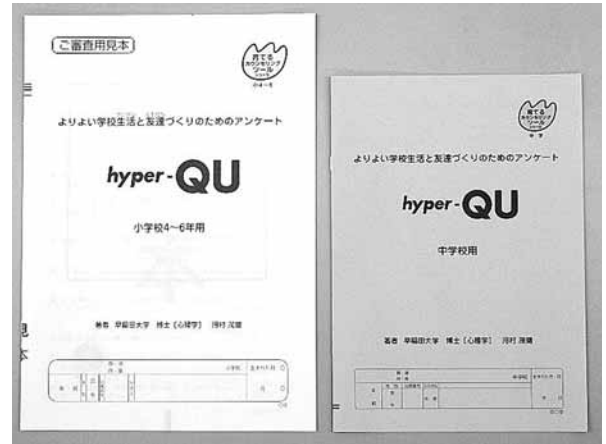
川瀬孝代

いじめ問題は

適切に対処していきます

今回の大津市の事件をどのように認識しますか。いじめについての考え方、本町での実態と取り組みを伺います。また、教員を取り巻く環境は厳しいものがありますが、負担軽減と効率化への取り組みが必要だと思います。いじめで苦しんでいる子どもたちをなくすためにどのように考えていますか。

教育長 事件後のさまざまな対応が不信を招き、警察の捜査という異例の



活かそうアンケートを

実態となり大変残念に思います。

いじめの行為は「100%悪い」という意識に子どもたちを変えていく必要があると認識しています。いじめの報告は、今年度で現在小学校4件、中学校1件です。起こった事案は話し合い、保護者を交え対応を協議しています。

心理テストで調査し「ヘルプサイン」を見つけ、一人一人と丁寧に関わり、専門的な援助がで

きるように、スクールカウンセラーを配置して適切なアドバイスを頂き、現場の教員の軽減につながると思っています。いじめの問題が起きた時は、隠さず学校、教育委員会が家庭、地域と連携を取りながら適切に対処していきます。

通学路の安全は

通学路の総点検の実施の結果と、通学途中の事故の実態はどのようなか。

また、点検のための点検ではなく、目に見える対策、計画的な実施を図るべきと思います。通学路の安全点検は、継続的に行うものと思えますがどうですか。

教育委員会事務局長

点検は各学校からの報告の38カ所を教育委員会、道路管理者、いなほ警察署の三者で検討をしました。横断歩道などのラインの塗り直し、看板設置、通学路変更の検討、カー

ブミラー設置などです。点検は、今後定期的に行い危険個所の改善など協議し対処していきます。事故については平成23年度1件、平成24年度現在3件です。

自転車で登校時、出会い頭での衝突でした。大事には至りませんでした。引き続き学校で交通安全ルールの指導に取り組みます。今後、児童生徒の通学路の安全確保の

取り組みと保護者や地域の方と関係部局と連携し取り組んでいきます。



退避場所を拡大



伊藤守一

いじめ相談員の設置を

この取り組みは参考にします

いじめ問題では、町も様々な施策で取り組んでいただいています。伊賀市において「いじめ相談員」を9月から設置されました。町も検討されてはどうですか。

教育長 「いじめ」の取り組みは、一人ひとりのかわりや、学級に対する満足度を把握するのにQ1調査を年2回実施しています。その中には、「いじめ」に関する項目が多く含まれ、その結果は、いじめの早期発見、早期対応に繋がります。



自然エネルギーを

また、困っていること、苦しんでいることがあれば、まずは誰かに相談する、打ち明けることが重要であり、問題解決にもなると考えますので、この伊賀市の取り組みは注目をしていきます。いじめの兆候をいち早く把握して、迅速に対応することや学校、教育委員会、家庭、地域が連携しながら対処していきます。

クリーンエネルギーを

町長の所信表明でエネルギー自給に、員弁川の

水量や施設を利用して小水力発電の取組構想を表明されましたが、その進捗状況を伺います。

町長 電力の自給自足を進めるため平成23年に、農業用水施設活用による小水力発電モデル策定調査を行いました。町内4候補地で電力施設の設置モデル検討を行い、その採算性や経済性を勘案して導入の可否を判断しています。結果は、水量の不安定もあり安い電力供給は無理との結果でした。

員弁川の発電施設については、案として員弁川第2土地改良区の施設を利用するものです。概算で一定の成果が有ると結果がでましたが、この電力を利用する独自の配電設備が必要と分かりました。また、員弁川は2級河川であり、治水、利水、環境と発電施設の安全性など不確定要素の多い費用が必要となり、小水力発電については、慎重に調査検討していくことに



若い力を町内へ

なりました。

若者定住促進条例は

若者定住促進条例は平成24年度末までですが、平成25年からの検証結果は出ないのですか。

建設部長 平成22年から本年8月までの、交付対象は、新築167件、建売4件、中古27件です。これまでのアンケートなどの分析を行い、慎重に検証を行っています。

※ほかに防災計画についても質問しました。



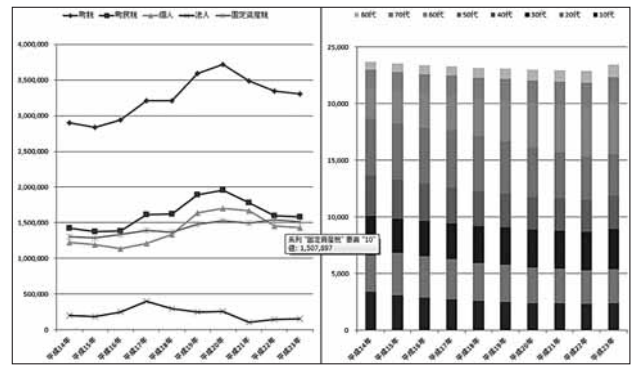
近藤治隆

町の財政状況は

将来的には厳しい状況です

国も地方も大きな借金を抱えていることは、多くの方が知っています。そこで町民の皆さまにも現在の東員町財政を正しく認識してもらうため、東員町の財政状況と将来の予測をお伺いします。

町長 現在の東員町の財政状況は厳しい状況であるという認識です。また、地方の借金に当たります、町債の未償還現在高は53億233万8千円です。住民一人当たりの借金は20万9千2百円で、



これが財政状況です

去年より847円増え、おり、将来的にもますます厳しい状況が強いられると予想しています。

再質問（一問一答）
東員町は町民税が主な財源ですが、将来的な人口推計では今後3年間で生産人口が約9%も減少すると予測されています。東員町の財政は年々厳しくなる、予想できません。何か打開策はお持ちでしょうか。

町長 若い方が東員町に住んでいただけるよう

な制度に比重をおいて検討していきたいと思っています。

厳しい財政状況の中、イオンが東員町へ出店される話がありますが、話が停滞していると聞いています。何か反対する理由があるのでしょうか。

副町長 当初より規模を大きくしたいと打診がありました。それは難しいと返答しています。

情報モラル教育は
インターネットなどの情報社会が急速に進む中で便利になった反面、危険性も指摘されてきました。そこで子供達への情報モラル教育の取り組みについてお伺いします。

教育長 東員町情報教育推進・情報モラル育成カリキュラムを作成し、各園校で取り組んでいます。

再質問（一問一答）
情報モラル教育に使われている資料を拝見しましたが、まだまだ足りな

い部分があると思っております。インターネットの書き込みは半永久的に残るものです。今回の大津のイジメを別の視点から見ると、加害者の名前がインターネットに残り、彼らの名前は大人になっても検索される可能性を秘めています。これは、書き込み側のモラルの欠如からくる問題ですので、小中学校からのモラル教育が重要だと考えています。



ネットいじめはダメ

い部分があると思っております。インターネットの書き込みは半永久的に残るものです。今回の大津のイジメを別の視点から見ると、加害者の名前がインターネットに残り、彼らの名前は大人になっても検索される可能性を秘めています。これは、書き込み側のモラルの欠如からくる問題ですので、小中学校からのモラル教育が重要だと考えています。

教育長 保護者も交えながら、子ども達には事例を踏まえて情報モラル教育を指導していきます。



上原君代

給食食材の安全・安心は

モニタリング5回実施予定です



おいしいなあ

6月議会の答弁で、給食の放射能汚染を心配する声に、県の学校給食モニタリング事業に検査希望を出したとの事でしたが、経過はどうですか。給食食材は産地地消を念頭にこの事でしたが、産地表示の公開と共に、国内産は県別の表示を、また、保育園未満児の食材納入はどうですか。放射能汚染を避けるため、肉や魚の産地表示もしてください。

教育長 平成24年9月

から平成25年2月までの期間、5期に分け5回検査します。指定された日程に合わせ1食全体を保存し、検査項目は放射性セシウムで、結果は県および県教育委員会のホームページで公表します。食材の産地はできる限り三重県産を依頼しますが、県外産の多いのが現状です。保育園の食材も学校給食と同じ流通形態で、市場の野菜は基準値以下と認識します。生肉は三重県産で、魚

介類は生ものを使用せず、加工品を利用しています。保育園は食数が少ないので、生魚類を調理していますが、産地の公表について検討します。

再質問（一問一答）

モニタリング結果は、町の広報や学校給食便りなどで公表してください。基準値とは基準値内の最高値でも良いわけですが、積み重ねは大きいです。この基準値についてどう思われますか。

教育長 公表結果は、町でできることはしていきます。基準値については私が判断するものではありません。

消防車が通れる道路に

神田、三和、稲部地域は4m以下道路が多いですが、全町に消防車が通れる計画はありますか。

町内工場、特に化学工場の消火・防災設備の調査・公表をしてください。

道路拡張や倒壊の危険がある建物について、自

治体以上に権限があるといわれる消防署に行動してもらえませんか。

総務部長 道路拡張工事は計画はありませんが、建替え時に控えるなどの協力をいただいております。

町内工場内の消火・消防設備は消防法に基づき設置されていますが、要望があれば桑名市消防署東員分署と工場関係者に確認し、提供できるものはしていきます。



消防車通れるの

※ほかに住宅リフォーム助成について質問しました。



種村博行

平成32年以降のゴミ処理は 早い段階で方向を決めます



この先どうなるの

RDF発電停止後のゴミ処理の考え方を伺います。

町長 基本的には徹底したゴミの減量化に努め、可能な限り資源としてリサイクルに取り組みたいと考えています。可燃ゴミの9割削減を目標とした減量対策を実施し、残余の500から1000tの可燃ゴミの処理方法は早い段階で、その方向を決めたいと考えています。

再質問(一問一答)
一般的な焼却炉建設の

工程は7年間を必要とします。今すぐにも環境影響評価の準備をすべきではないですか。

町長 役場組織の中でプロジェクトを作り、早急に作業を進めて参ります。

焼却炉の選定には焼却物の量を把握する必要があります。生ゴミは全て堆肥化に移行するのですか。

町長 RDF発電が停止する平成32年には完全に移行するように住民と対話をしながら進めてま

います。

焼却灰の溶融スラグは最近使用先が減っていると聞いています。確認が必要ですか。

町長 現在は太平洋セメントに依頼していますが、この先も可能かは確認をいたします。

生ゴミ堆肥化は

生ゴミ堆肥化の進め方について伺います。

町長 昨年12月に堆肥化検討委員会を立ち上げ検討をいただいております。現在は委員の方に分別処理のモニター調査をお願いしており、今年度中にモデル地区を指定し処理方法を確定した上で、来年度夏ごろから各地区で説明会を行い、平成26年度から段階的に住民の皆さまと対話しつつ、取り組みを進めてまいります。

再質問(一問一答)

京都市などで生ゴミを嫌気発酵させ、メタンガスによる発電を事業化し

ています。これの検討をされましたか。

町長 生ゴミ堆肥化検討委員会の中では検討はしていません。今後、検討していきます。

平成26年度から全戸を対象に進めるには平成25年度中には設備が必要ですが、平成25年の予算にどんな形で上がってきますか。

町長 基本的にはストックヤードを考えています。早急に設備化の検討を進めて参ります。



堆肥化はここで

堆肥化設備は臭いの問題が懸念されます。住民説明の予定はありますか。

町長 大木地区には説明会を予定します。



近藤敏彦

町内の小中学校でのいじめは 小学校4件、中学校1件です

大津市で起きたいじめ問題は、たいへん大きな問題として世間を騒がせています。現在、町内の小中学校においていじめはありますか。

教育長 今年度は小学校4件、中学校1件となっております。

再質問(一問一答)

その他にも潜在的ないじめはないですか。

教育長 生徒へのアンケート調査(ハイパーQ調査)では「学級に満足していない」という項目



気楽に相談を

目の中でも「要支援」という児童は、小学校6校合わせて、各学年で5から10名ほどいますが、まず担任の先生が面談をして、言葉をかけるということを行っております。また「学級に満足している」と答えた生徒は、全国平均が36%なのに対して東員町では60から65%であったことも報告されています。

災害時の避難場所は

東員町ではどのような

災害を想定して、どこを避難場所として設定していますか。

総務部長 全体としては、中学校2校、小学校6校及び総合体育館の9カ所で収容可能人員は1万3千人です。

地震時の地区別避難所として各小中学校の校庭と中部公園、笹尾中央公園を指定しています。員弁川の水防対策として、長深地区は三和小学校と長深公民館、南大社地区は南大社研修センター、中上地区は中上構造改善センターを指定しています。

再質問(一問一答)

近年の集中豪雨などで、場合によっては高台への避難も必要ではないでしょうか。

総務部長 地域防災計画の見直しの中で検討していきます。

女性の参画比率は

東員町での女性の参画比率はどれくらいですか。



災害対策は万全に

生活福祉部長 各種審議会・委員会では28・1%で職員では47・5%となっております。

再質問(一問一答)

男女共同参画というのはさまざまな部署をまたいで横断的に進める必要があり、政策課のような組織全体を見渡せるような部署に設置したほうがよいのではないのでしょうか。

町長 ご指摘のとおりです。全町をあげて取り組む必要がありますので、

来年度に向けて検討したいと思います。



大崎潤子

工事内容の予定表を町民に 公表できるように検討します

今年度5カ月が過ぎました。予算執行状況を確認します。また、工事の間予定を広報などで知らせよう提案します。

9362万円計上した庁舎などの改修工事は進んでいません。工事内容を示してください。

副町長 平均45%の執行状況です。当初予算可決後に、執行時期や工事内容を公表できるように検討します。

役場駐車場拡張工事は



広くなります駐車場

10月中旬に開始で147台に増やし、思いやり駐車場を設けます。

トイレ改修は11月ごろ、窓口カウンター改修工事は12月ごろの予定で、照明改修工事は11月ごろ、庁舎1階事務所と議場を中心にLED照明に取り換えます。

消費税は町財政にも重い負担

国民の56%が消費税増税に反対するなかで、民主・自民・公明の賛成多

数で消費税率を2014年に8%、15年に10%にすることを強行採決しました。日本共産党は、増税しないで日本経済を立て直す政策を示しています。増税は、町民の暮らしに大打撃を与えると同時に、町財政にも悪影響を及ぼします。町財政を預かる町長は、増税反対の声を発信すべきではないですか。

町長 消費税増税の影響は、歳入は地方消費税交付金が平成26年度2億5200万円。消費税の支払は平成26年度一般会計で1億4700万円、5つの特別会計で平成28年度に2000万円の増加と推計しています。世界では10%以上の税率であり、日本もやむを得ないと思いますが、景気が悪い中で国民へのしわ寄せが重くのしかかって来るように感じます。

旧笹尾第一保育園跡地は

旧笹尾第一保育園の跡

地は、町有地として活用するようにと、地元自治会から強い要望が出ています。地元自治会のこの要望を無視して進めないように町長に強く要望します。

町長 少子高齢化が進む笹尾・城山地区の再生と人の循環を考えていくために必要な用地で、民間の力を活用して取り組んでいきます。笹尾西一丁目自治会とは引き続き議論をしていきます。

安全安心の給食提供に力を

調理業務の民間委託は、偽装請負の疑念が強いです。労働管理上と事業経営上の独立性についての見解を求めます。

教育長 指揮命令系統の確立や責任を契約書などに明記させ、設備、器具等を有償とし、光熱水費も業者負担とします。



どうなるの保育園跡地



南部 豊

防災計画は

現在策定中です



災害対策の強化を

第5次東員町総合計画の災害時における基本的な考え方を伺います。

① 自主防災組織の再検討の必要性は。

② 避難場所の管理運営と組織づくりは。

③ 各地域の問題点の想定と支援体制は。

④ 災害弱者の方々に対する支援体制は。

⑤ 行政と各地域間の情報の伝達方法は。

⑥ 個人情報に考慮したマニュアルづくりの提案。

町長 ①どのような時間帯であっても、みんなで協力・連携する体制づくりを図ります。

② さまざまな人が避難してこる中、避難者が自主的に組織を形成できるリーダーの選任や役割分担の配置の訓練を実施します。

避難所運営ゲーム（HUG）を各地区において実施することも必要です。住民一人一人の防災対策、減災対策を進めていただくよう啓発・周知をします。

③ 水害の危険度が高い三和地区に限って避難所

の指定をしています。

④ 高齢者、障がい者、乳幼児の要援護者福祉避難所の指定が早急に必要です。

⑤ 国、県及び県内市町は三重県防災行政無線、町内は、東員町防災行政無線の利用および東員町防災アマチュア無線ボランティアに要請をしております。

⑥ 世帯構成による避難方法や形態が異なる家族が合流する場所を決めておくことも有効であります。

農業政策について

国、県の指針がぶれる中、次世代を見据え将来に向けた町独自の政策や対策は。また、全農地面積に占める田、畑、果樹園、遊休地、耕作放棄地の割合と、その対策をお伺いします。

町長 農家数の減少や高齢化、後継者不足、これに伴う休遊農地や耕作放棄地の増加などの問題



増加する耕作放棄地

があり、農業の振興には厳しい環境です。本町は水田農業による稲作が主流で、他の農作物への取り組みは活発ではありません。野菜や果樹など高付加価値作物を導入し農家の収益確保をめざしたいと考えています。

建設部長 現在、東員町地域農業再生協議会や農業委員会、みえいなべ農協などの関係機関と行政が一体となり、「一

※ほかに学校給食について質問しました。



島田正彦

発達障害の対応は

来年度発達支援室を設置します



あすなる学園で研修中

発達障害の早期発見と
その対応について6点質
問いたします。

①乳幼児健診は4カ月・
10カ月・1歳6カ月・3
歳6カ月と実施されてい
ますか。健診内容をお聞
かせ下さい。
②現場で子供たちと向
き合う先生、加配者の方
への指導、情報交換など
現時点で十分されていま
すか。
③障がいを持つ、また、
疑いのある子ども之母親
に対する心のケア、フォ

ローは現状はどうなっ
ていますか。

④若い母親からは発達
障害に関して相談したい
が窓口がわからない、相
談しても的確な回答が得
られない。
⑤発達障害に携わる専
門家、臨床心理士、言語
聴覚士において万全の体
制を取れないでしょうか。
⑥あすなるに研修に行
かれた方が終了後、障が
いを持つ、もしくは疑い
のある子どもに具体的な
アプローチ、目標設定、

家族へのフォローなど細
やかに説明、指導ができ
ますか。

教育長 ①乳児一般健
康診査と幼児健康診査が
あります。乳児健康診査
では体重、身長、胸囲、
頭囲などの身体測定その他、
栄養状態、心雑音、反射
の異常、聴覚など、疾病
や発達に問題がないか調
べます。幼児診査では視
覚、聴覚、運動、発達障
害、疾病等医師、看護師、
保健師、栄養士、臨床心
理士などが実施していま
す。

②各園に園長、副園長、
園児担当の者が園内の特
別支援教育、保育をコー
ディネートしております。
園の加配者や学校の学習
支援員を対象とした研修
会も実施。お互いに困っ
てることを話し合う場を
設け情報交換しています。

③健診で発達障害が疑
われた場合は保健師によ
る定期的な訪問を行い発
達相談も心理判定員、保
健師がお子さんの発達に

関する相談や発達検査を
実施しています。

④来年から発達支援室
(仮称)を設置し、保健、
福祉、教育の連携による
親子支援の充実を図り、
相談窓口の一本化により
サポート体制の充実を図
ります。

⑤支援室の核となる教
員と保育士の2名を中心
に、専門職の支援を賜り
ながら検討して参ります。

⑥あすなる学園で治療
や、療育のスキルを学ん
だ2人が専門職の方と連
携を図りその子どもなり
の健やかな成長と問題行

動の予防ができることを確信
しています。

※ほかに防災に関し3月
質問の進捗状況と役場の
対応について質問しまし
た。



早期発見、早期改善



山本陽一郎

教育委員会のあり方は

意見交換を密にします

今問題になっている教育委員会のあり方について、また、少子高齢化時代における将来を見越した学校施設などの整備について伺います。

教育長 教育委員会のあり方については、以前からさまざまご指摘をいただいております、東員町教育委員会としても、教育の中立性の確保と教育行政の継続性を基本にし、町長との意思疎通を図っております。教育委員会のあり方については、今後も改革を進め、信頼

される教育委員会を目指し努力していきます。

町内学校施設の大きな課題は、築後40年前後の学校が多く、第一中学校については、将来的には移転も含めた建て替えが必要と認識しております。こつしたことから施設の長寿命化計画の策定を急ぐとともに、将来の学校施設の配置構想を策定する必要があります。

再質問（一問一答）

行政と教育委員会のあり方について、また、将来を見越した学校施設の

適正な配置、整備についての方向性を町長に伺います。

町長 教育行政の中に行政は入ってはいけないと思っておりますが、ただし意見交換が少なかったらと思っております、今後は教育委員の方と定期的な意見交換をすることになりました。また、一中の整備については、非常に老朽化しており、場所も偏っており、移転も含め考えたいと思います。

共同墓地構想は

都立小平霊園内に樹林墓地が開設されています。死後、安らかに自然に還りたいという思いに込められる新たな集合墓地であり、去る見学会には、300人の定員に対し、2,600人の応募があったと聞きます。

長年にわたり町の行政に多大な貢献をされてきた、これらの施設希望者の声に添うことは町の究極の福祉施策と考えま



東京都小平霊園 樹林墓地

すが、町長の考えを伺います。

町長 東京都の小平市の事例については、私も承知しておりませんが、これから検討をさせていただきます。

いろんな宗教の方がみえますので、どのように御先祖を供養されていくかということ、我々にとっては大きな問題であります。本当にこれが行政として、やらなけれ

ばいけないことか私として疑問に思っており、少し研究させていただきます。

委員会活動レポート

長野県小布施町・飯綱町

現地視察日 7月12日・13日

議会運営
委員会

「できることから議会改革を進めます」

小布施町議会は、議会改革・活性化を進めるために、議会が「政策提言」ができることや「通年議会」制度を実施しています。

東員町議会運営委員会として、議会改革を進める参考として、質問を前もって提出し、当日回答を頂きながら意見交換を行いました。主な内容は次のとおりです。

- ① 通年議会制度を導入している。
 - ② 研修で議員全員の質の向上に取り組んでいる。
 - ③ 議員間の自由討議で意見交換を進めている。
 - ④ 政策立案のできる議会として、政策立案常任委員会を設置している。
 - ⑤ 委員外委員の参加で、すべての議案を把握している。
 - ⑥ 請願・陳情審議のスピード化が図られている。
- などの活動で議会改革を進めている小布施町で

した。

飯綱町は、合併後第三セクターの破綻で多額の損失金が発生し、町民から厳しい批判を受け、議会改革の必要性を痛感し、議会改革を進めました。実施した町民アンケートなどでさまざまな意見の問題点を学習して、新しい議会への発展が必要と議会像を示し、8項目の議会改革を宣言され、町民に信頼される議会を目指して改革に取り組みられています。

- 質問を前もって提出し、当日回答を頂きながら意見交換を行いました。主な内容は次のとおりです。
- ① 議員全員で学習・討議の徹底が図られている。
 - ② 政策立案能力を高めるために、常に学ぶことを基本としている。
 - ③ 議長のリーダーシップを元に、議員間討議が充分に行われていることが

ら、議員の資質向上が見受けられた。

などの活動で議会改革が図られている飯綱町でした。



【委員会研修総括】

小布施町・飯綱町の視察研修を参考に、東員町議会ができる次の3件を9月定例会より試行しました。

- ① 予算決算委員会終了後に議員間討議の実施
- ② 委員外委員の各常任委員会の傍聴を実施
- ③ 要望書・陳情についても、提出者の方より任意で説明を受ける
- ④ 請願の審議は、提出された方から説明を求める（12月定例会から）

委員会活動レポート

宮城県多賀城市・岩手県陸前高田市
現地視察日 7月31日・8月1日

総務建設
常任委員会

そのとき… 議員はどう動いた

平成23年3月11日の信じられない光景がテレビなどで放映された東日本大震災から約1年と5カ月。

「震災時における議員活動」をテーマとして、多賀城市と陸前高田市を視察・研修を行いました。多賀城市には東員町から震災時から3カ月交代で職員を派遣しています。市役所周辺まで津波がきたそうですが、かなり復興が進んでいるのか信じられなく結構活気がありました。しかし、郊外に行くと震災の被害がそのままの痛ましい風景でした。

陸前高田市は市の全域が壊滅状況といっても過言ではなく、民家や商店はすべて片付けられたのでしょうか、残がいとしてあったのは市庁舎やスパーや体育館などでした。ただ、沿岸部でガレキの整理に多くの重機械が

稼働していたのが印象的でした。

本日に政府の強力的な全面支援の必要性を強く感じました。

次に、「震災時における議員活動」をテーマとした研修を受けて両市とも共通した点があったので記します。

①このような地震や災害は絶対に起きないと思っていた。

②震災時に議員の個人プレーがあり、行政の邪魔となった。

③地域の自主防災組織がまったく機能しなかった。

④議会の防災組織がなかった。

これを機に、両市では東日本大震災対策委員会や災害特別委員会を立ち上げたり、一時避難所の見直しと確保、災害発生時の対応要領の作成そして震災復興計画に取組んでおられます。

この度の研修を機に東員町議会では仮称ですが、議会災害対策本部設置要綱および対応要領を作成することとなりました。

この東日本大震災から何を学び、何をすべきなのか、そして、「減災」とは犠牲者を一人も出さないことであることを痛感させられました。

最後に、この度の震災で犠牲になられました多くの方々に改めて哀悼の意を申し上げますと共に、一日でも早い復興をお祈り申し上げます。

頑張れ！東北！



委員会活動レポート

和歌山県橋本市・奈良県橿原市

現地視察日 7月26日・27日

教育民生
常任委員会

ゴミの将来を考える

広域でゴミ処理をしている和歌山県橋本市のゴミ焼却設備およびその運用と、介護予防事業の知見を拡大するため奈良県橿原市を視察しました。

東員町の可燃ゴミは桑名広域でRDF化し、そのRDFを県企業庁の発電燃料として使用しています。しかしながら発電設備の耐用年は平成29年に達し、県企業庁は耐用年から3年間延長した平成32年に停止する方針を打ち出しました。

焼却設備は1日あたり101tの能力で建設され、ダイオキシン・ばいじん・窒素酸化物などの排ガス除去設備と付帯設備として排熱を利用した発電機で所内電力の約半分を賄い、また、温浴施設を建設し、近隣の人達に憩いの場所を提供しています。

焼却炉の設備技術はすでに確立されており、稼働後は大きなトラブルもなく順調に運転しているようですが、計画段階では排ガス対策やゴミ減量についての説明会を数十回開催し、住民の同意を求めた苦労を話してみました。

橋本市のゴミ処理施設は平成21年11月から稼働し、可燃ゴミ焼却設備とリサイクル施設の構成です。

本町においても将来のゴミ処理設備建設にあたっては、おおいに参考にすべきだと思いました。

元気でいつまでも

奈良県橿原市は人口12万5000人で高齢化率は東員町より2ポイント高い町です。高齢者介護事業および予防事業は橿原市も東員町もほぼ同じように実践されていますが、橿原市は参加率を高めるため、各事業に興味を引くネーミングの工夫がなされています。

例えば、□から元気教室、生き生き脳元気教室、戸びだそう我らがシニア教室など東員町も参考にすると感じました。

高齢化が急ピッチで進んでいる東員町も現状をタイムリーに分析し、細やかなサポートの継続が今後さらに必要になってくると思います。



9月12日・13日にシニアカレッジの皆さんが、9月定例会一般質問を傍聴されました。
たくさんの感想を寄せていただきました。（※一部を掲載しました）

傍聴者の声

●イオンの件で不思議と思いましたが、平成22年頃から計画を聞いていたが、いつも長深を通るたびに、いつになったら完成するのだろうかというも思っていました。その計画が来年の12月と聞いて驚いています。その2年前からの計画が信用できません。本当に誠の真実が知りたいです。

初めて参加させていただきましたのですが、素人から見ればなんだろうと思うが、当たり前ですが、早く完成していただくことを願います。

●いじめ問題について、家庭がしっかり親子関係がなされていけば、世間の目があります。まずは家庭が第一と思います。親子の信頼が大切だと思います。子供がどんな行動をしているか、親は知ることだと思います。

●今回、はじめて一般質問の議会見学をさせていただきました。身近な問題ばかりで、それぞれ印象的でした。また、機会があれば一緒に勉強させていただきます。

●前回の議長の話の中に、プラムチャンネルでの議会放送は止めて、町のホームページでというのがあったが、ホームページを利用できる人は比較的若い人に限られるので、放映は続けてほしい。見る人は少ないとのことだが、わが家では関心を持ち町政の行方を見ています。

●高齢化が進んでいる当町、財政難が私達、年金生活者には、今後、どうなっていくのか不安です。

●議員の方々は、東員町の何年も先のことを考え、質問してみました。今の私達には少し理解しか

ねるところがありました。予算については、勉強不足で何もわかりませんでした。

●ゴミ問題について、普段あまり気にしていなかったが、ゴミ問題の複雑さと難しさを痛感しました。

●庁舎等改修工事が行われることは初めて聞きましたが、町の広報を詳しく読むようにしたいと思いました。

●町議会一般質問の傍聴に初めて参加しましたが、議員としての活動が、身近な地元の意見の集約も勉強して、住民代表として活動していると感心しました。

●初めて議会傍聴をさせていただきましたが、議員さん、それぞれの分野で勉強されて質問されていることがわかりました。

●発達障害の早期発見とその対応方法について、教育長の説明はわかりやすく理解ができました。若いお母さん達が少しでも育児に心のゆとりをもって子育てをしてほしいと思います。

●防災対策について、避難場所の管理運営や自主防災組織などの問題、DIG（災害図上訓練）での新しい訓練の提案は、とても聞いていて良かったと思いました。高齢化の中で班での訓練や、寝たきりの方、足腰の弱い方、防災時にすばやく対応できる様に、年に何回か、実施してほしいと思っています。

※内容は原文のまま掲載しました。ありがとうございました。

議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。よく読んで答えてください。

問1 平成23年度実質収支額は。

問2 平成24年度一般会計予算総額は。

問3 平成24年9月定例会で一般質問した議員は何人でしょう。

▼応募方法
官製はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、また議会へのご意見、ご感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

▼あて先
〒511-0100 東員町山田一六〇番地 東員町議会事務局

▼締切り
平成24年11月22日(当日消印有効)

▼正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

※ご記入いただきました個人情報については、賞品発送及び読者の声などの目的以外には一切使用いたしません。ただし、行政側に対するご意見・質問などの場合は、その内容に応じ、担当課から報告または回答をさせていただく場合もあります。



サギ草

次回の定例会は
平成24年12月開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

ご意見やご感想をお寄せください。
詳しくは議会事務局まで

ひやり言

人類は歩くことから始まり、言葉を使い、火をおこすことを覚え、文明の進化と今日の利便さと繁栄を築いてきました。

たくさんの民族による多様な宗教と言語、この中で数字を用いて数を表す記数法は、比較的広く使われている言語です。

先日、友人から数字の兆の上の単位を聞かれました。ご存じの方々もお見えになると思いますが、調べてみました。

兆(チヨウ)、京(ケイ)、垓(ガイ)、秭(ジ)、穰(シヨウ)、溝(コウ)、澗(カン)、正(セイ)、載(サイ)、極(ゴク)、恒河沙(コガシヤ)、阿僧祇(アソウギ)、那由多(ユタ)、不可思議(フカシギ)、無量(ムリョウ)、阿僧祇(アソウギ)は、10の68乗です。まだまだ、たくさんあり、不可説不可説転(フカセツフカセツテン)、など、〇が幾つ付くのか。

また、下の単位もありました。毛(モウ)の下には、糸(シ)、惛(コン)、微(ヒ)、纖(セン)、... 淨(ジョウ)は、10のマイナス23乗です。

元は仏教用語ですが、これを考えたのは誰?。古代中国人だとすれば、凄すぎます。このようなことが、簡単に調べることができるインターネットもまた、凄すぎます。

(南部 豊)

一般質問は、原則議員提出の原文のままです。

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めるとも禁止されています。

また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。

議会広報常任委員会

委員長/島田 正彦
副委員長/上原 君代
委員/南部 豊・種村 博行
木村 宗朝・藤田 興一

表紙の写真

稲部小学校運動会風景